築上町まちづくりアンケート

調査報告書

令和７年２月

築上町企画財政課

目次

Ⅰ　アンケートの概要 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－１
　１　アンケートの目的 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－１
　２　アンケートの方法 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－１

Ⅱ　回答者属性 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２

Ⅲ　アンケートの結果 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－５
　問１－１　築上町の暮らしやすさについて －－－－－－－－－－－－－－－－－－－５
　問１－２　築上町に住み続けたい理由 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－７
　問１－３　築上町に住み続けたくない理由 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－９
　問２－１　築上町を知人友人におすすめする気持ちについて －－－－－－－－－－１１
　問２－２　築上町をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちについて －１３
　問２－３　築上町をより良くしようと活動している人に感謝する気持ちについて －－－－ １５
　問３　地域活動への参加頻度について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－１７
　問４　協働のまちづくり推進について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－１９
　問５　移住・定住の促進について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２１
　問６　交流人口・関係人口の拡大について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－２２
　問７－１　子育てのしやすさについて －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２３
　問７－２　子育てがしやすい理由 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２４
　問７－３　子育てがしにくい理由 －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２５
　問８　農林水産業について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－ ２６
　問９　商工業について －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２７
　問１０　築上町の好きなところについて －－－－－－－－－－－－－－－－－－－－２８

Ⅰ　アンケートの概要

１　アンケートの目的

築上町まち・ひと・しごと創生総合戦略の検証や、今後の町の施策立案の基礎資料として参考にするためアンケートを実施しました。

２　アンケートの方法

（１）アンケート対象者

築上町在住の１８歳以上７０歳以下の１，５００名（基準日：令和６年６月１日）

（２）調査期間

令和６年６月１４日（金）から７月１２日（金）まで

（３）実施方法

郵送法及びインターネット回答

（４）回収数（率）

３６０件（２４％）

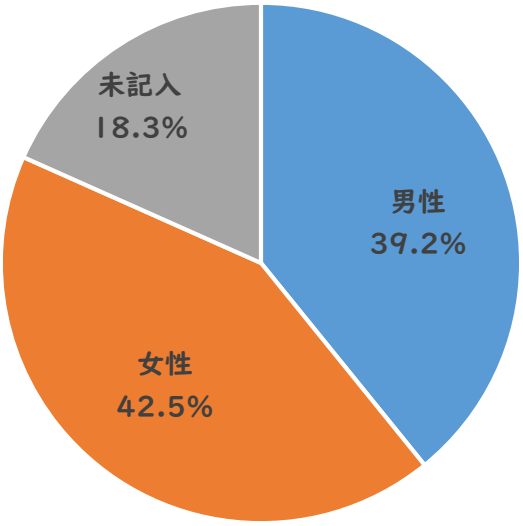
（５）集計方法

- 各設問の割合は、小数点以下第２位を四捨五入しています。したがって、回答比率の合計が１００％にならない場合があります。
- 各設問の回答割合は、当該設問に対して無効な回答（空欄 等）を除いた上で算出しています。
- 回答者の属性別集計では、回答者の属性毎に回答件数を集計し、各設問に対する回答割合を算出することで、回答者の属性別傾向を分析しています。

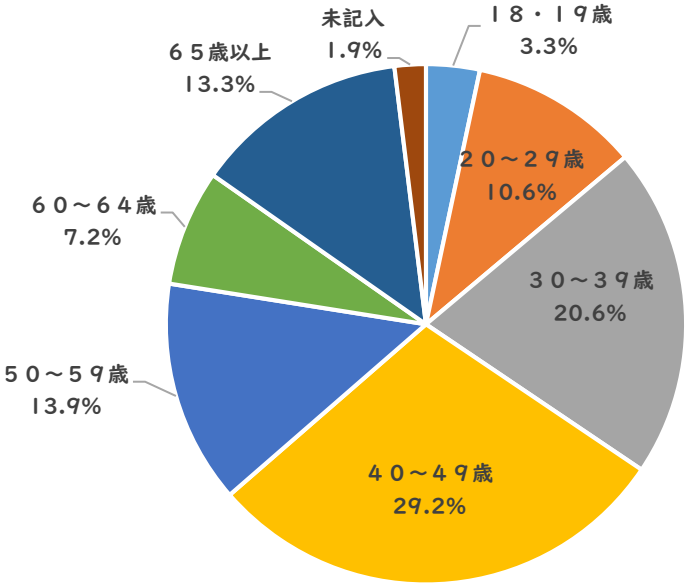
  なお、回答者の属性が分からない回答については、分析から除外しています。

Ⅱ　回答者属性

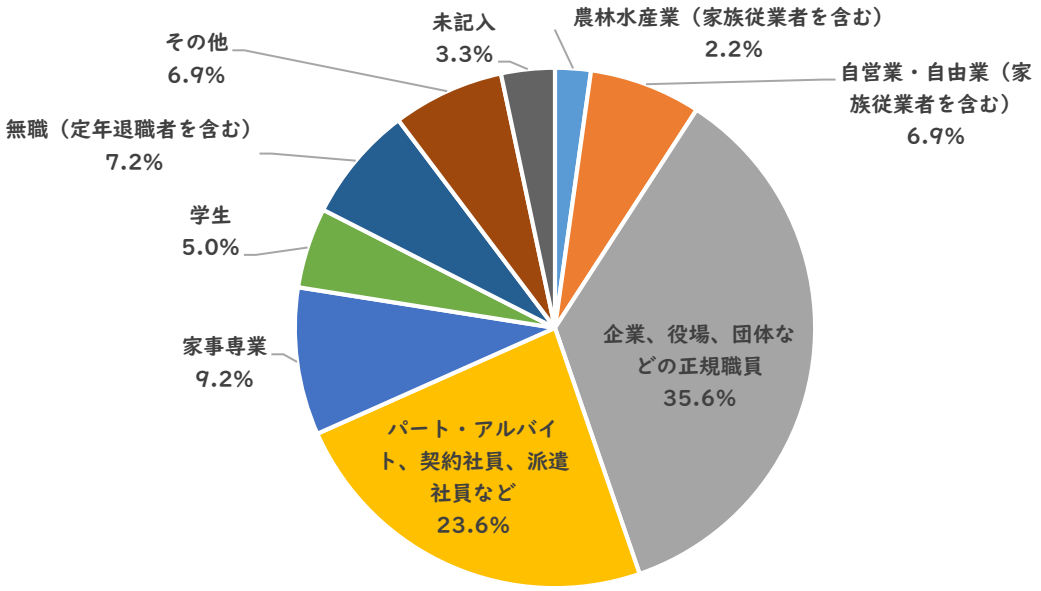
性別


未記入
18.3%
男性
39.2%
女性
42.5%

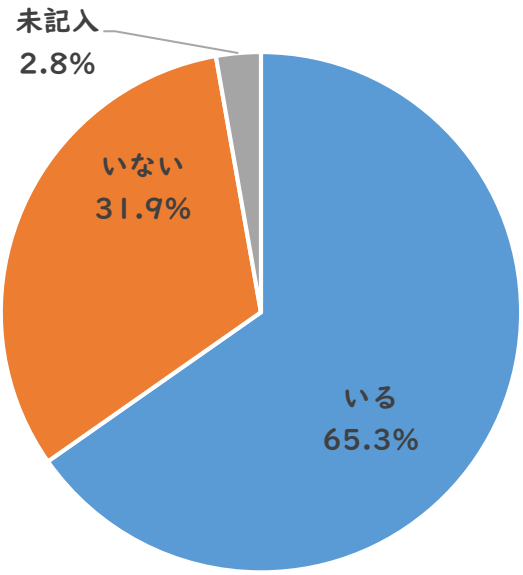
年齢


未記入
1.9%
18・19歳
3.3%
65歳以上
13.3%
20～29歳
10.6%
60～64歳
7.2%
30～39歳
20.6%
50～59歳
13.9%
40～49歳
29.2%

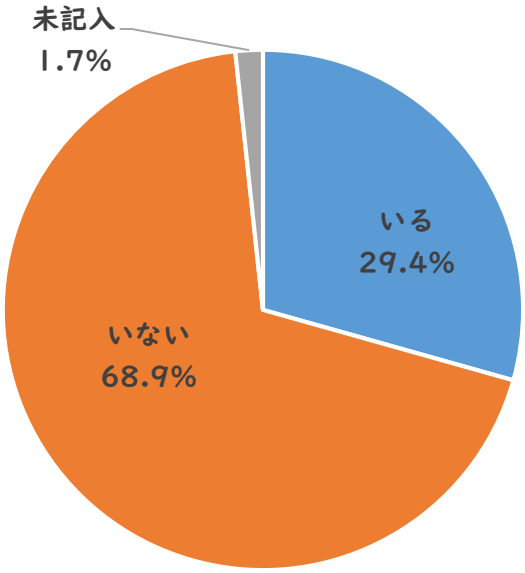
職業


農林水産業（家族従業者を含む）
2.2%
自営業・自由業（家族従業者を含む）
6.9%
企業、役場、団体などの正規職員
35.6%
パート・アルバイト、契約社員、派遣社員など
23.6%
家事専業
9.2%
学生
5.0%
無職（定年退職者を含む）
7.2%
その他
6.9%
未記入
3.3%

子どもの有無

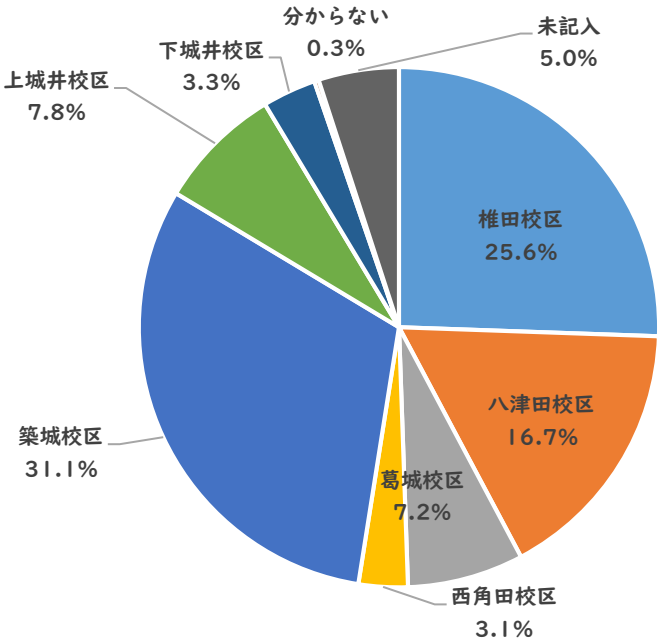

いる
65.3%
いない
31.9%
未記入
2.8%

未就学児の有無（※）



（※）「子どもがいる」と回答した方のうち、未就学児の有無に関する割合

居住地

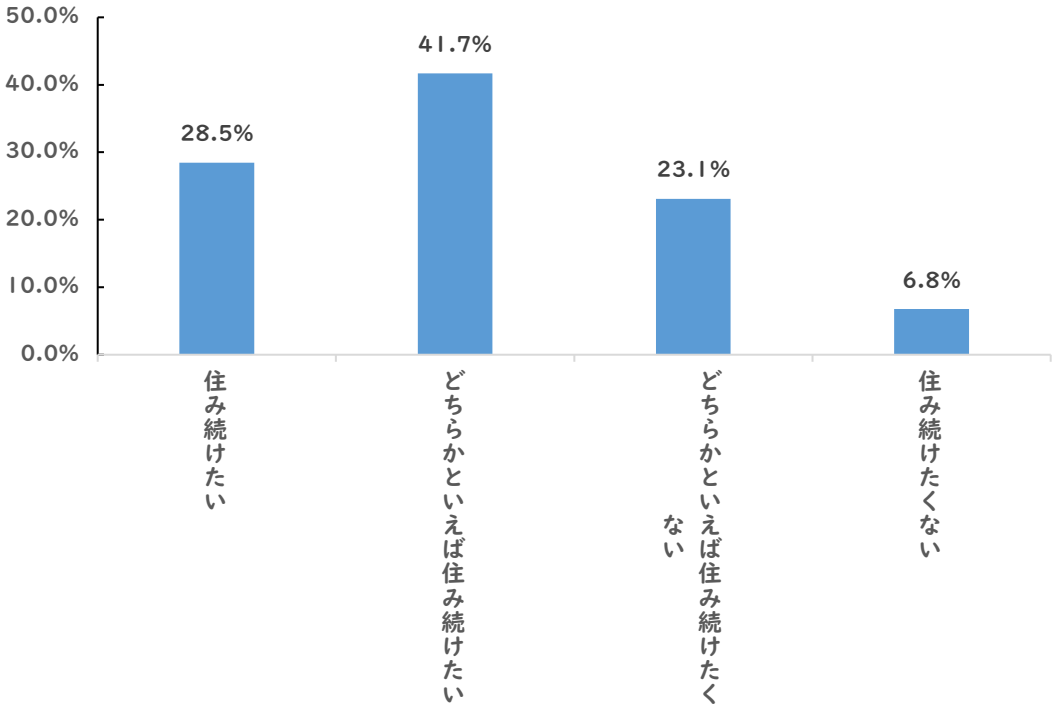


Ⅲ　アンケートの結果

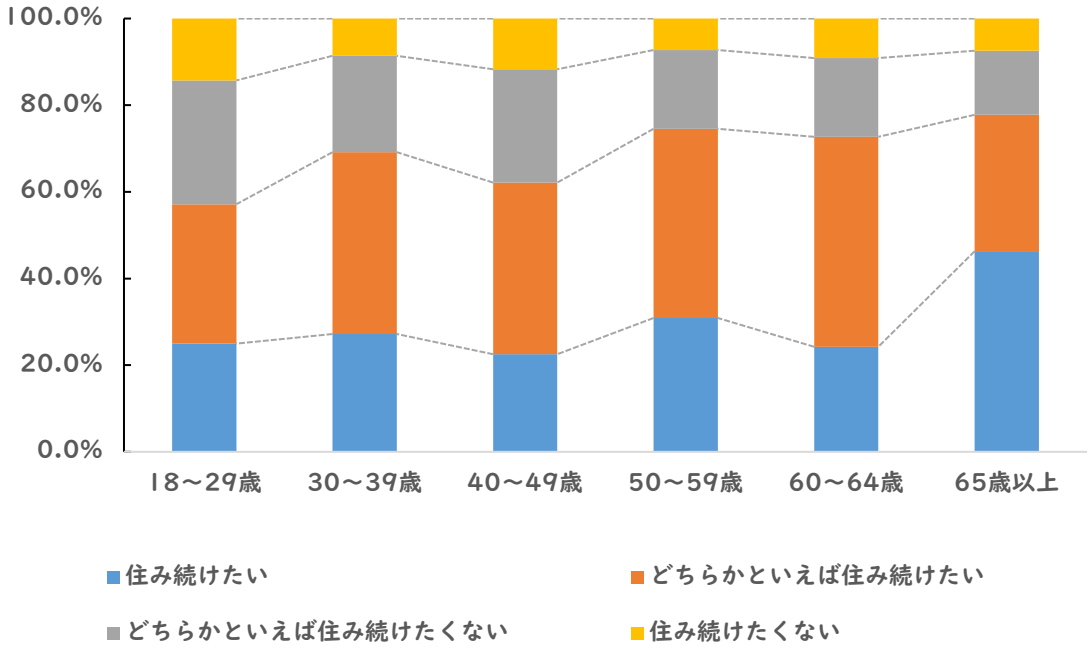
問１－１　築上町の暮らしやすさについて

町全体でみると、「どちらかといえば住み続けたい」（41．7%）が最も多く、次いで、「住み続けたい」（28．5%）となっています。

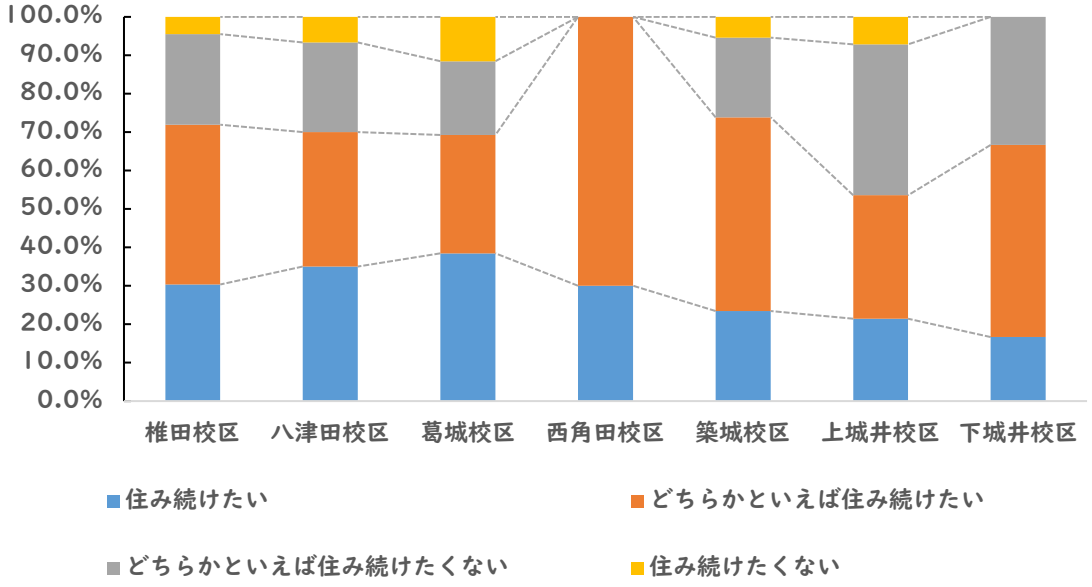
築上町の暮らしやすさについて



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
住み続けたい
どちらかといえば住み続けたい
どちらかといえば住み続けたくない
住み続けたくない

【地域別分析】

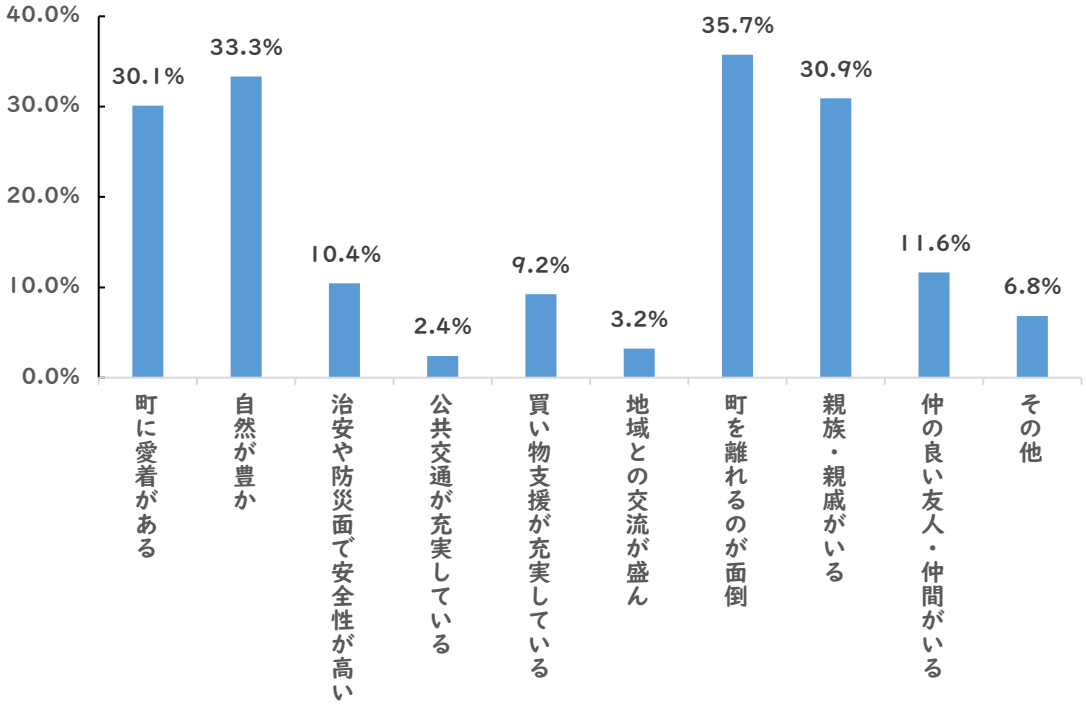

100.0%
90.0%
80.0%
70.0%
60.0%
50.0%
40.0%
30.0%
20.0%
10.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
住み続けたい
どちらかといえば住み続けたい
どちらかといえば住み続けたくない
住み続けたくない

問１－２　築上町に住み続けたい理由

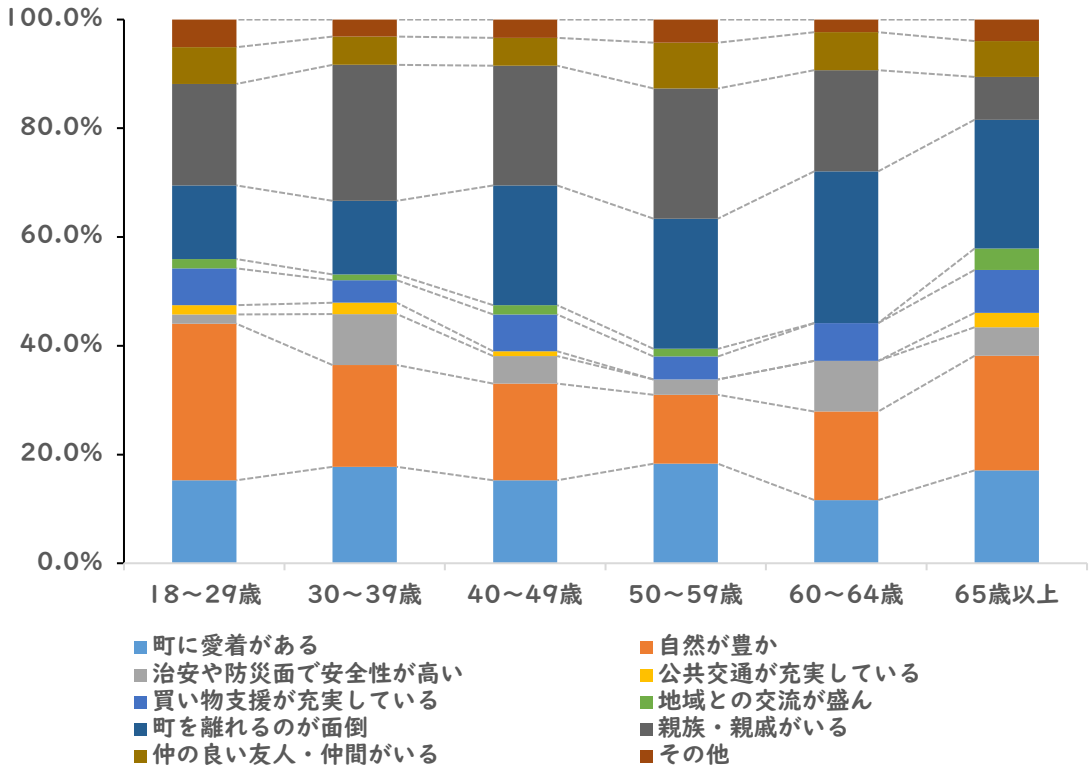
（問１－１で「住み続けたい」又は「どちらかといえば住み続けたい」と回答した方のみ回答）

町全体では、「町を離れるのが面倒」（35．7%）が最も多く、次いで、「自然が豊か」（33．3%）となっています。

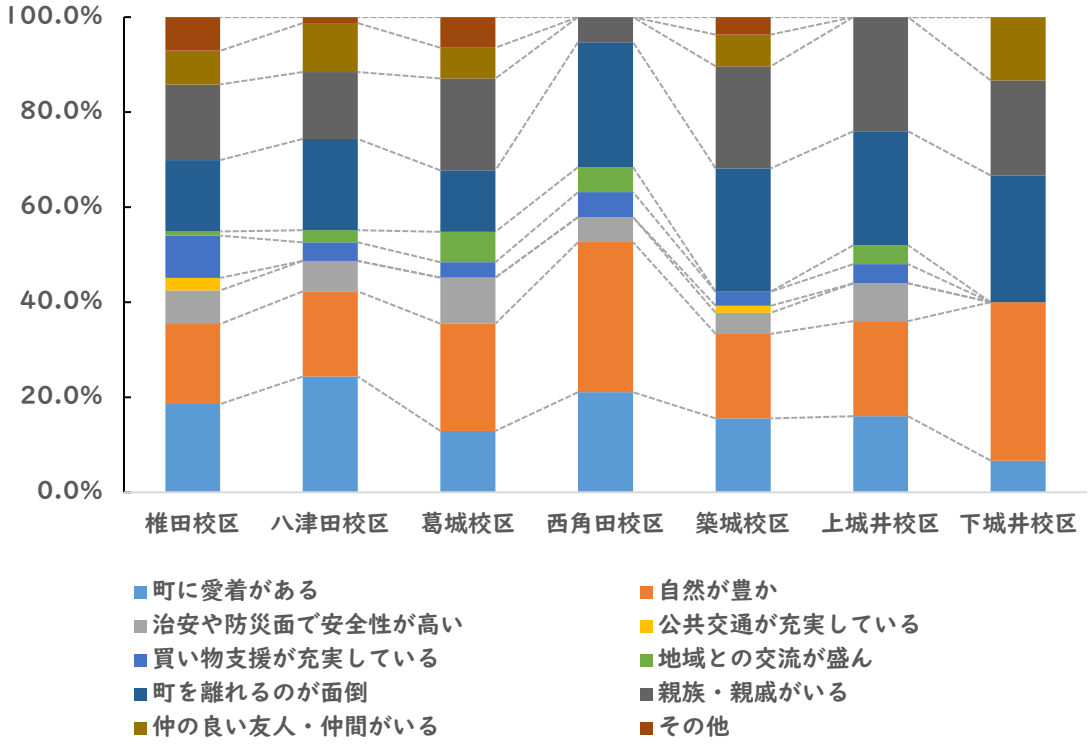
築上町が暮らしやすい理由



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
町に愛着がある
自然が豊か
治安や防災面で安全性が高い
公共交通が充実している
買い物支援が充実している
地域との交流が盛ん
町を離れるのが面倒
親族・親戚がいる
仲の良い友人・仲間がいる
その他

【地域別分析】

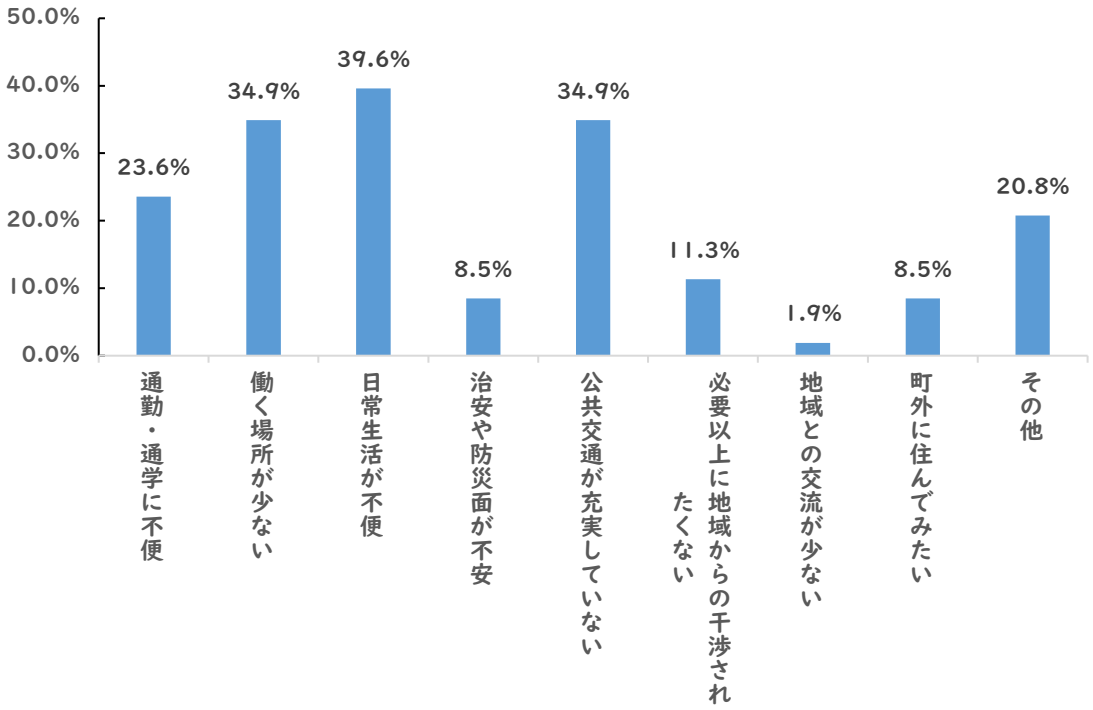

100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
町に愛着がある
自然が豊か
治安や防災面で安全性が高い
公共交通が充実している
買い物支援が充実している
地域との交流が盛ん
町を離れるのが面倒
親族・親戚がいる
仲の良い友人・仲間がいる
その他

問１－３　築上町に住み続けたくない理由

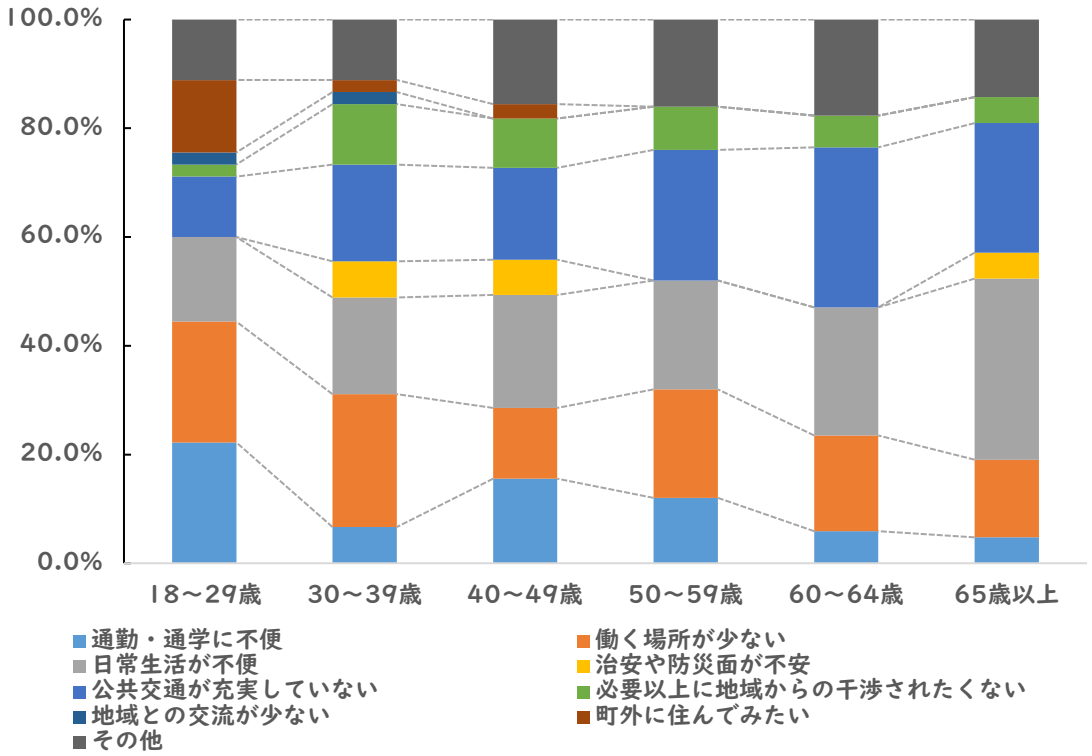
（問１－１で「住み続けたくない」又は「どちらかといえば住み続けたくない」と回答した方のみ回答）

町全体では、「日常生活が不便」（39.6%）が最も多く、次いで、「働く場所が少ない」「公共交通が充実していない」（ともに 34.9%）となっています。

築上町が暮らしにくい理由

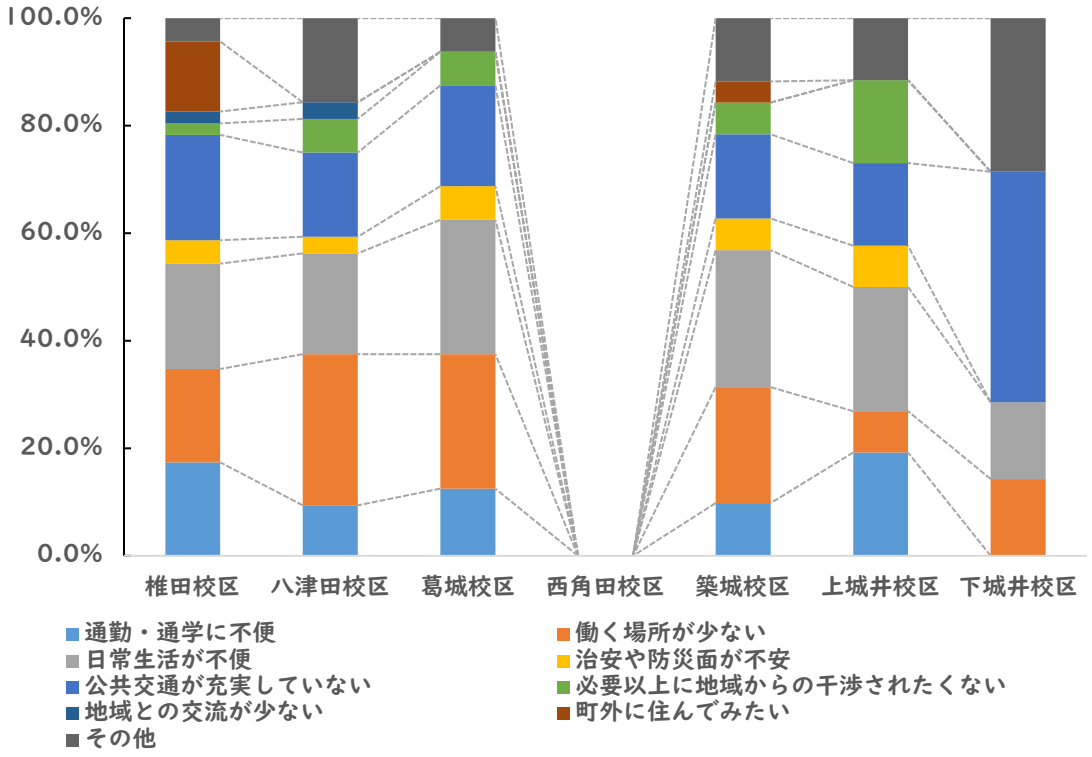


【年齢別分析】



【地域別分析】

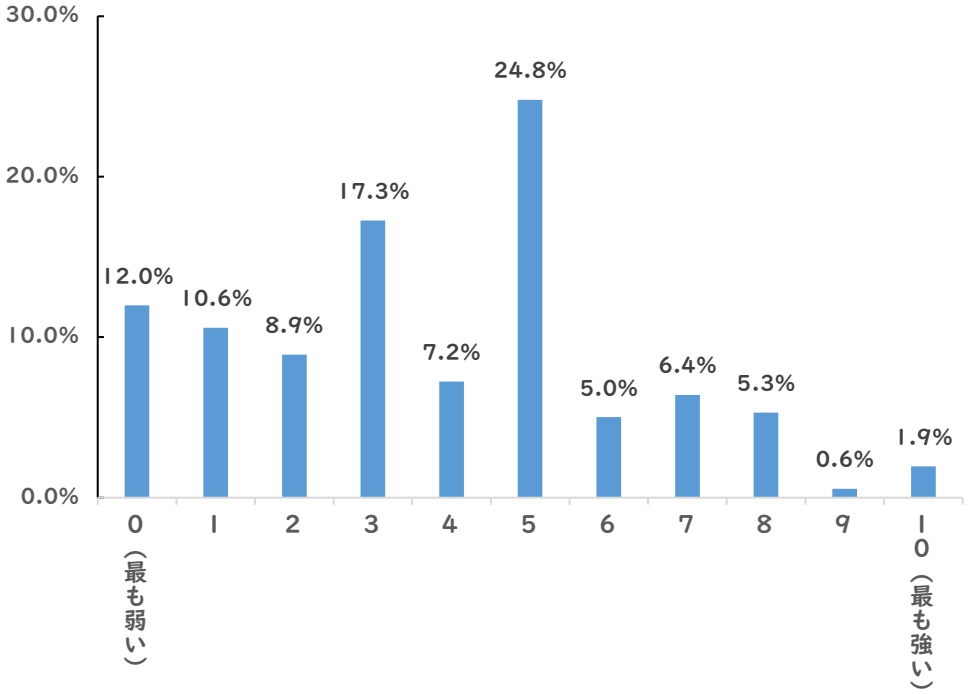
※西角田地区は「住み続けたくない」「どちらかといえば住み続けたくない」選択数が0名



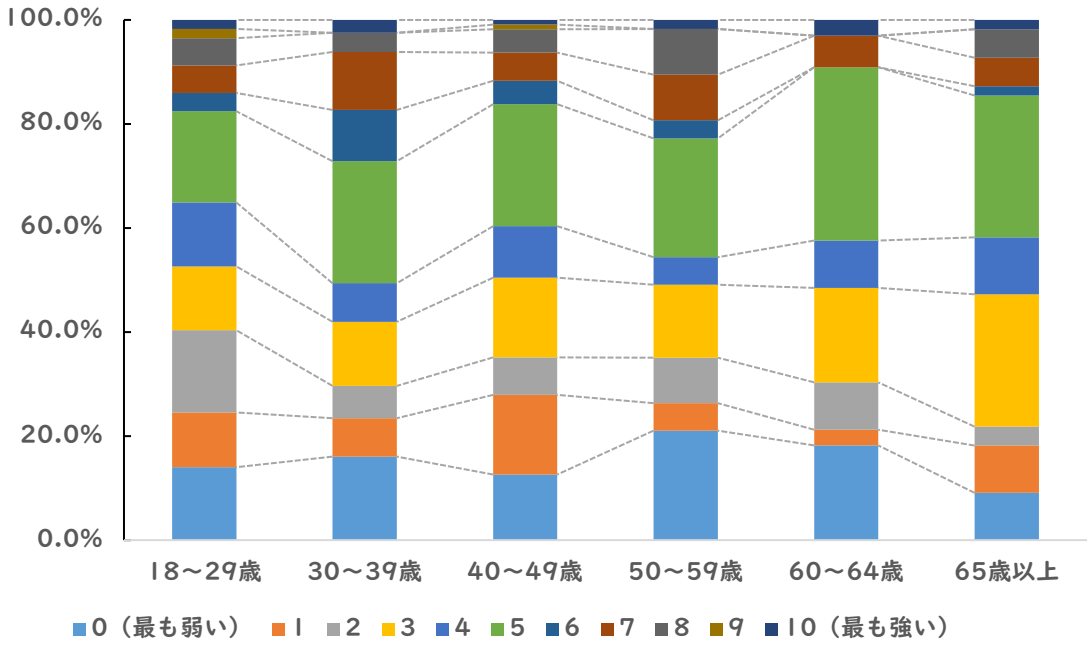
問２－１　築上町を知人友人におすすめする気持ちについて

町全体では、「５」（24.8%）が最も多く、次いで、「３」（17.3%）となっています。

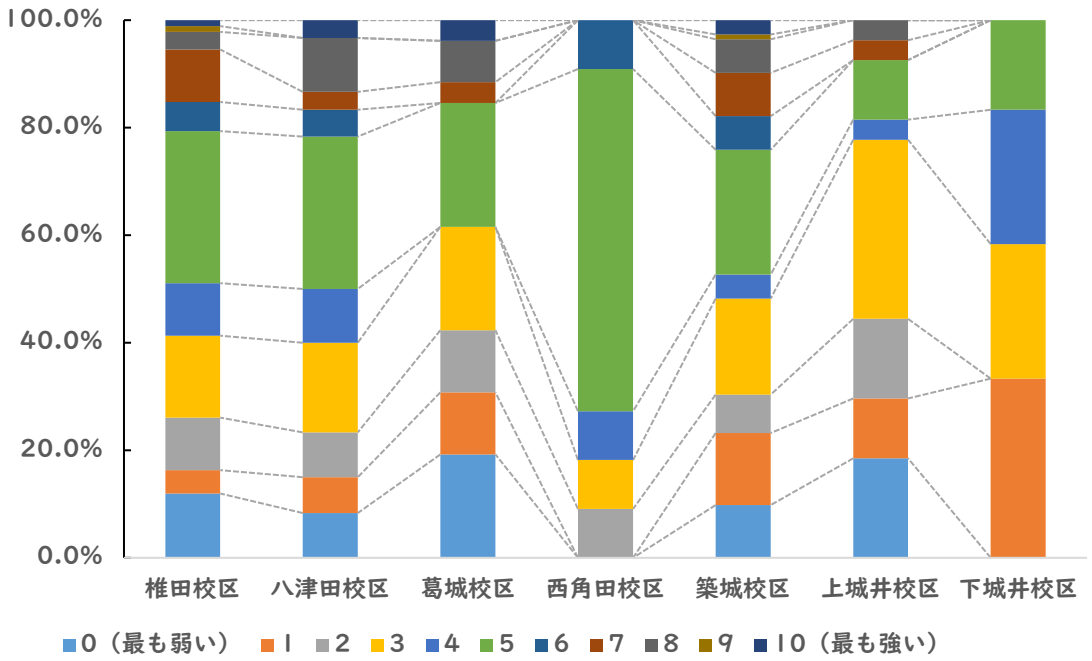
築上町を知人友人におすすめする気持ちについて



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

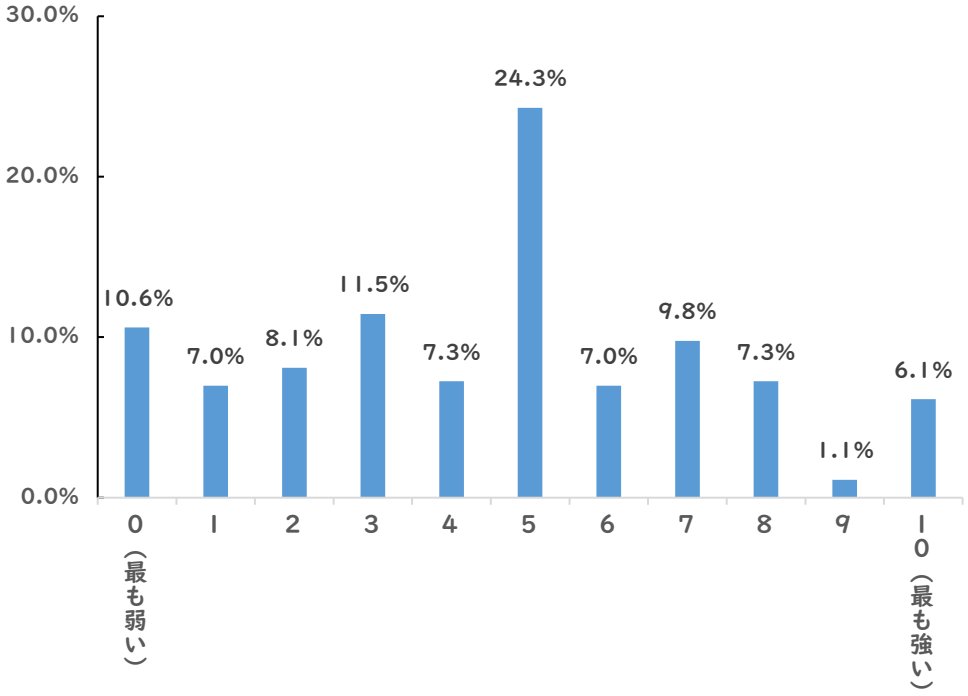
【地域別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

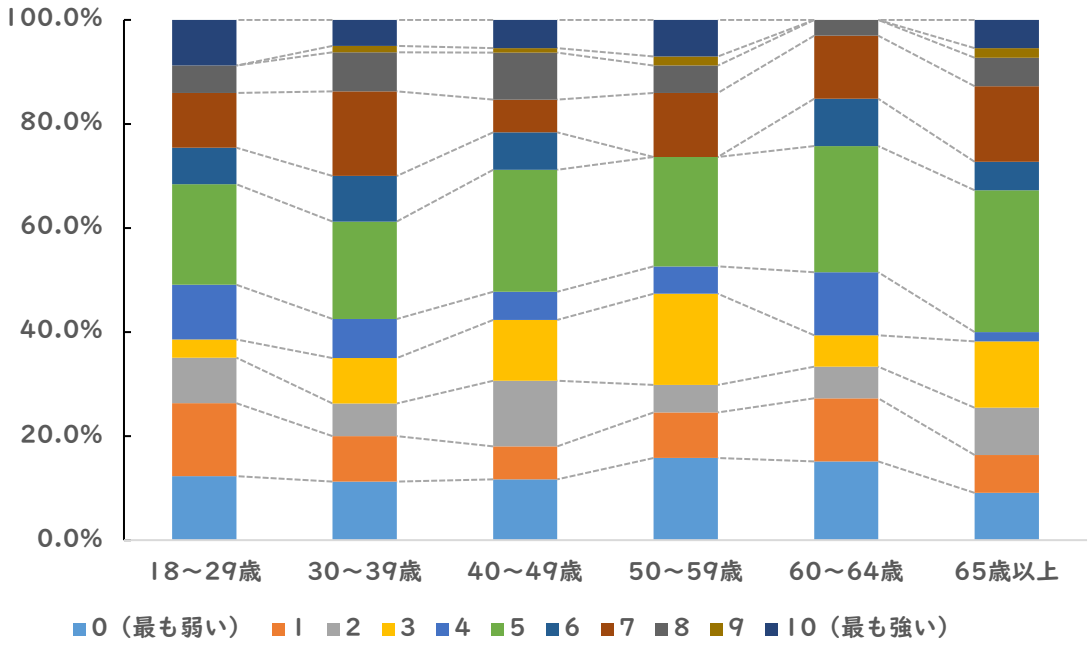
問２－２　築上町をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちについて

町全体では、「５」（24.3%）が最も多く、次いで、「３」（11.5%）となっています。

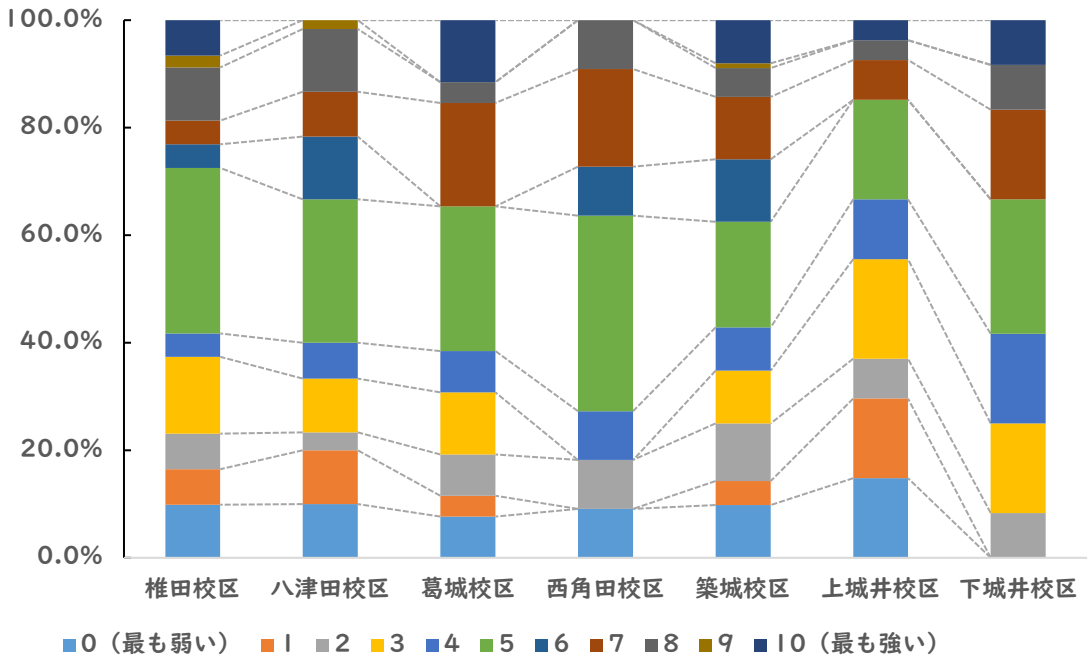
築上町をより良くするための活動への参加や行動しようとする気持ちについて



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

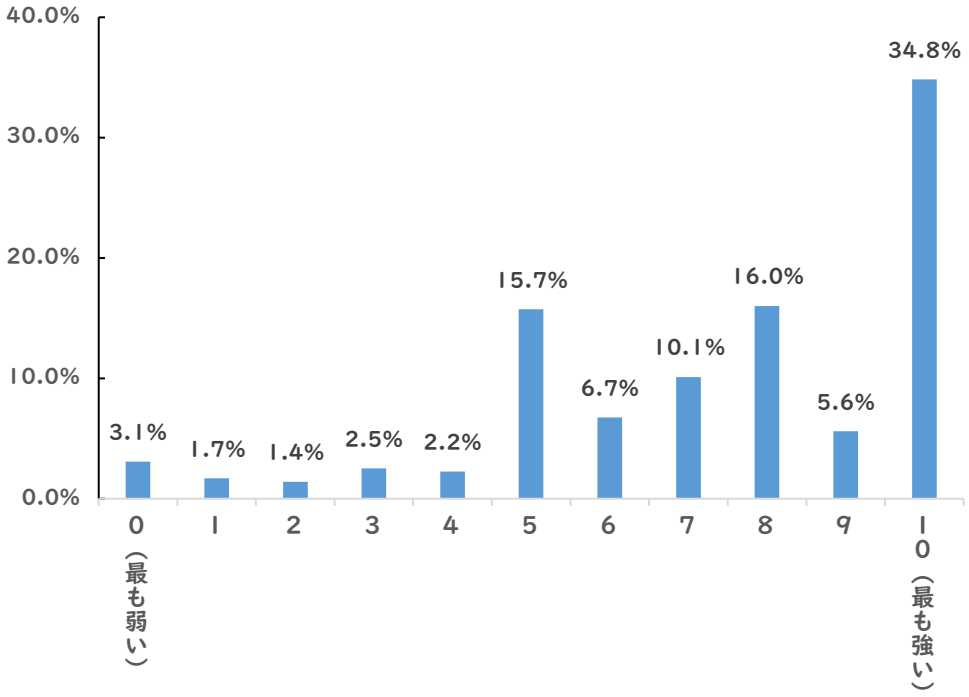
【地域別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

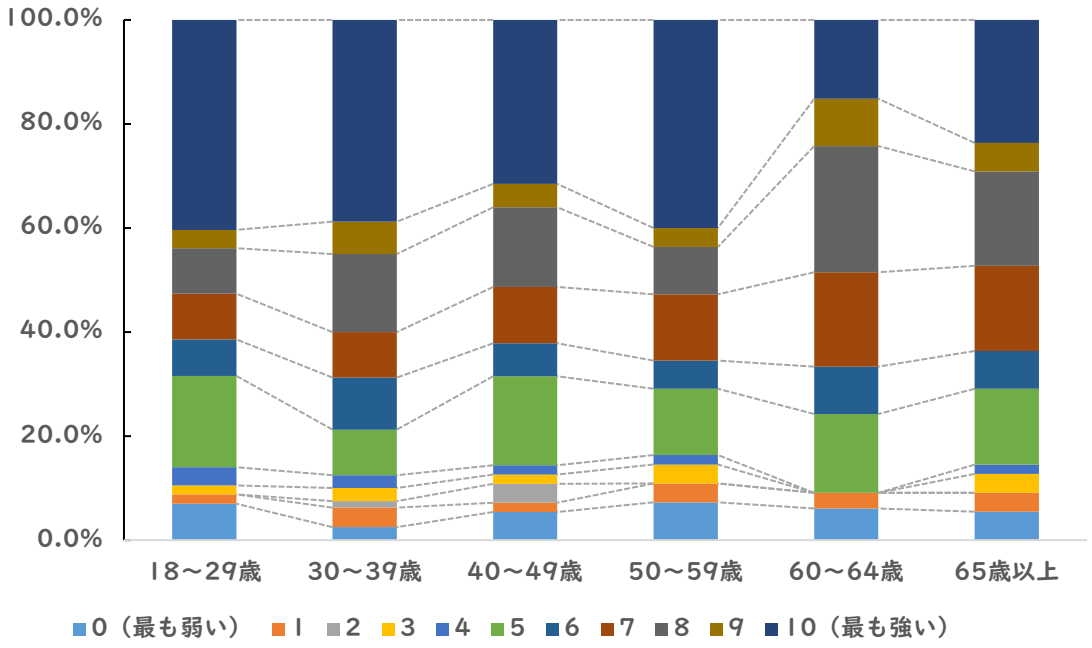
問２－３　築上町をより良くしようと活動している人に感謝する気持ちについて

町全体では、「１０」（34.8%）が最も多く、次いで、「８」（16.0%）となっています。

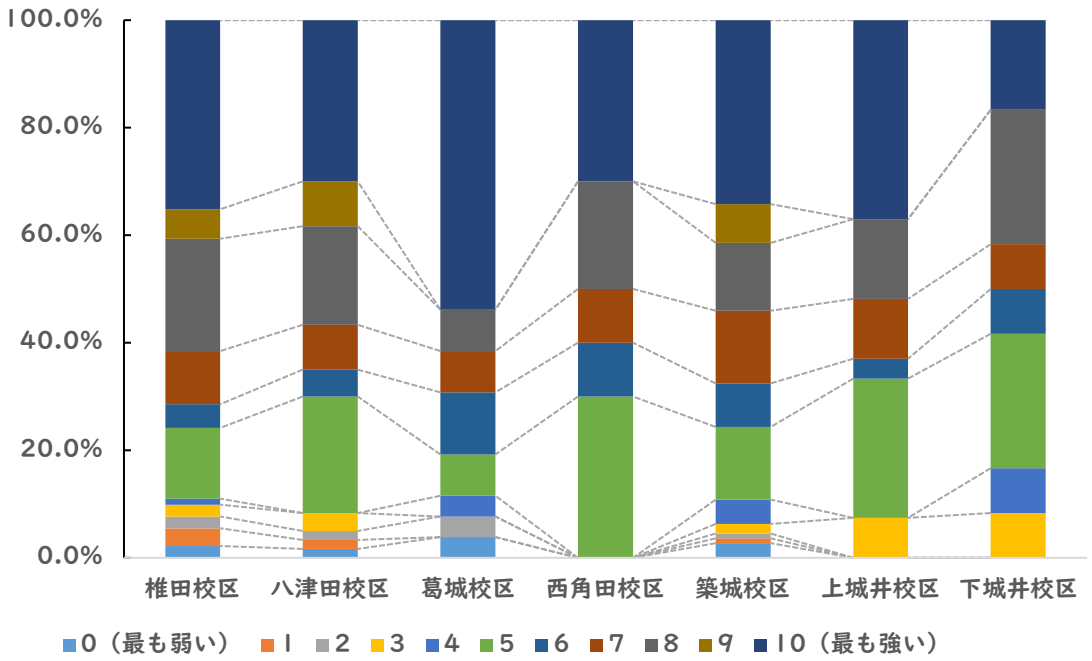
築上町をより良くしようと活動している人に感謝する気持ちについて



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

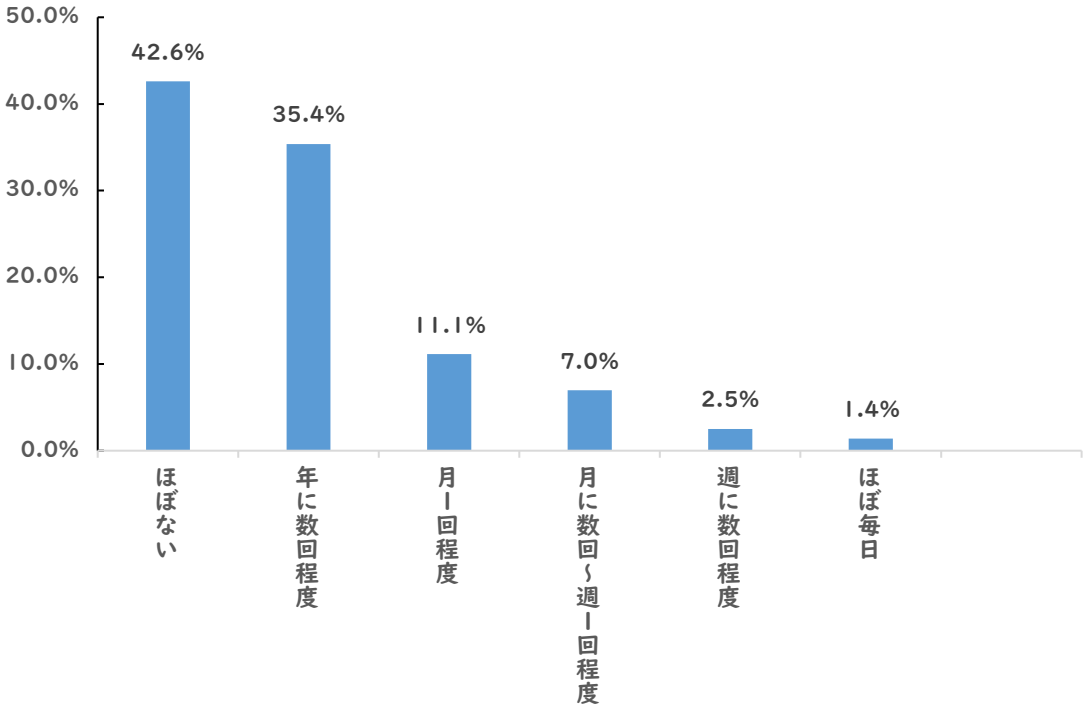
【地域別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
0（最も弱い）
1
2
3
4
5
6
7
8
9
10（最も強い）

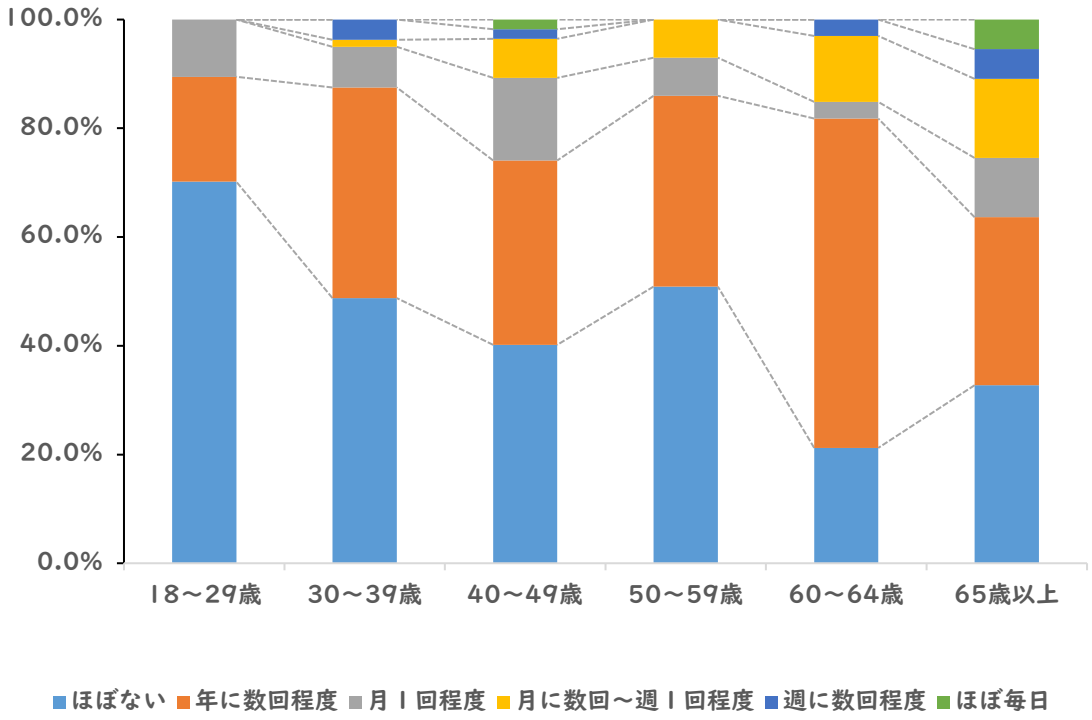
問３　地域活動への参加頻度について

地域活動への参加頻度について、「ほぼない」（42.6%）が最も多く、次いで、「年に数回程度」（35.4%）となっています。

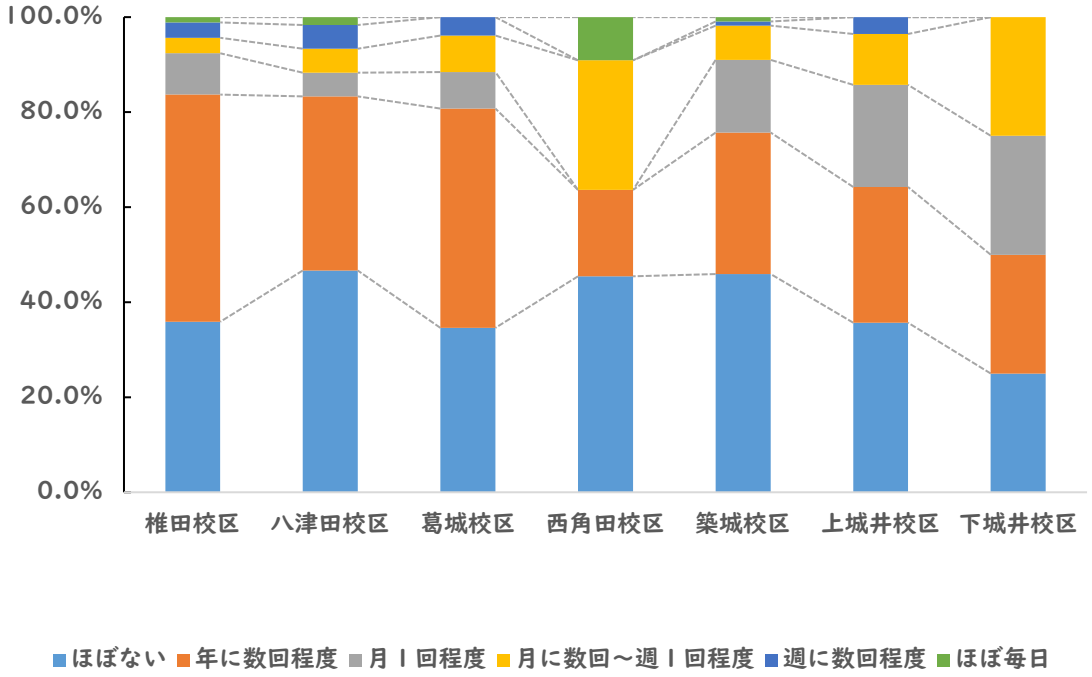
地域活動への参加頻度について



【年齢別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
18～29歳
30～39歳
40～49歳
50～59歳
60～64歳
65歳以上
ほぼない
年に数回程度
月１回程度
月に数回～週１回程度
週に数回程度
ほぼ毎日

【地域別分析】


100.0%
80.0%
60.0%
40.0%
20.0%
0.0%
椎田校区
八津田校区
葛城校区
西角田校区
築城校区
上城井校区
下城井校区
ほぼない
年に数回程度
月１回程度
月に数回～週１回程度
週に数回程度
ほぼ毎日

問４　協働のまちづくり推進について

協働のまちづくりを推進するにあたって、住民がまちづくりへ参加しやすくなるためのアイデアやあったら良いと思う取組、または行政におこなって欲しい支援などとして、以下のような回答がありました。

1．住民が参加しやすいまちづくりへのアイデア

交流の場の創出
公民館の開放、多世代交流スペースの設置
地域交流イベントの増加（祭り、マルシェ、ワークショップ）
世代間交流イベント（高齢者と若者の交流、子育て世代交流会）
共通の趣味を持つ人が集まれるコミュニティスペースの提供

子育て世代への配慮
子育て中の親の交流支援（情報交換会、イベント企画）
子連れ参加しやすいイベントや託児サービスの提供
公園や遊具の充実、小規模公園の設置
子育て支援拠点の拡充、児童館の活用

情報発信と参加促進
SNS や情報誌の積極的な活用、ポスターの掲示
参加しやすい雰囲気づくり、強制参加の排除
行政の取り組みや進捗状況の見える化
イベント情報の発信チャネルの充実（HP リンク、アプリなど）

多様な主体への働きかけ
特技を持つ住民によるワークショップ開催支援
地域活動団体の活動拠点整備
参加促進のためのポイント制導入（地域活動、イベント参加など）
地域課題に関するセミナーや講座開催

若者世代の意見反映
若者が意見を表明しやすい場の設置、意見交換会の開催
若い世代の視点を取り入れた企画・運営
若者が興味を持つイベント開催

2．行政への要望・支援

地域連携の促進
地域団体、NPO、企業との連携強化
地域資源（人材、技術）の発掘・活用
地域課題解決のための相談窓口設置
地域活動に対する補助金制度の拡充、手続きの簡素化

インフラ整備と生活環境の向上
道路の整備、歩道の確保、街灯の増設
公共交通機関の充実（コミュニティバス路線の拡充）
地域内の移動手段の確保（高齢者向け送迎サービスなど）
情報通信環境の整備（光回線、Wi-Fi スポット）

持続可能な地域活動の支援
市民活動センターの設置、相談窓口の開設
ファシリテーター養成講座の実施（対話促進）
ボランティア活動の促進（有償ボランティア制度の検討）
地域活動の担い手育成（若年層、移住者など）

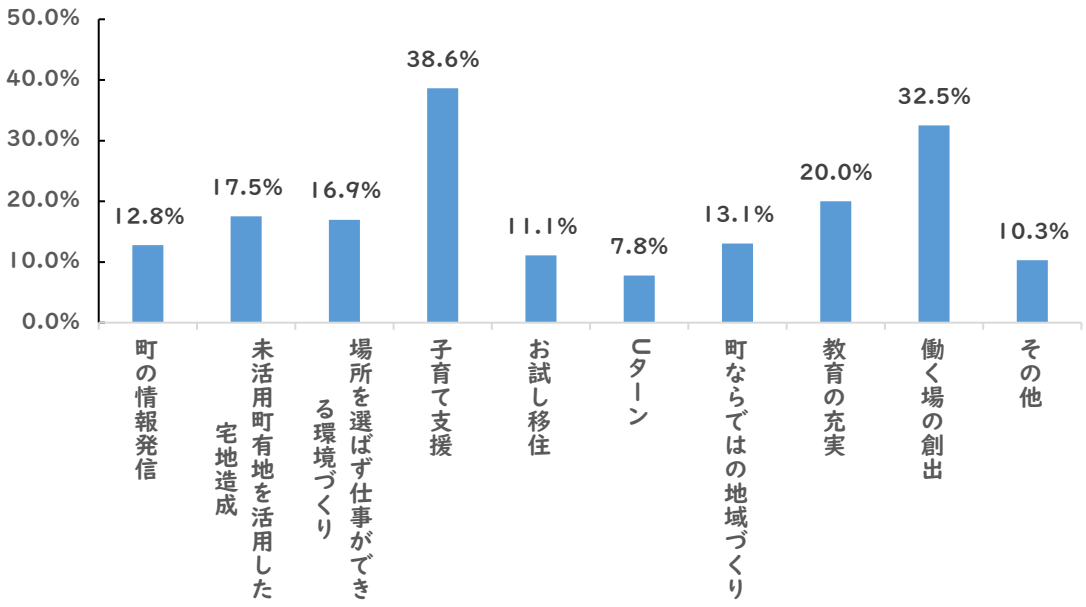
地域資源の活用と活性化
地域産品の PR、販売促進
空き家、空き地の有効活用支援
観光資源の磨き上げ、情報発信
企業誘致の推進、雇用創出
起業支援、創業支援

子育て・教育環境の整備
病児保育施設の整備、医療的ケア児支援
放課後児童クラブの拡充、多機能化
学校外での教育機会の提供（フリースクールなど）

問５　移住・定住の促進について

移住・定住の促進について、行政に力を入れてほしい項目を見ると、町全体では、「子育て支援」（38．6%）が最も多く、次いで、「働く場の創出」（３２．５%）となっています。

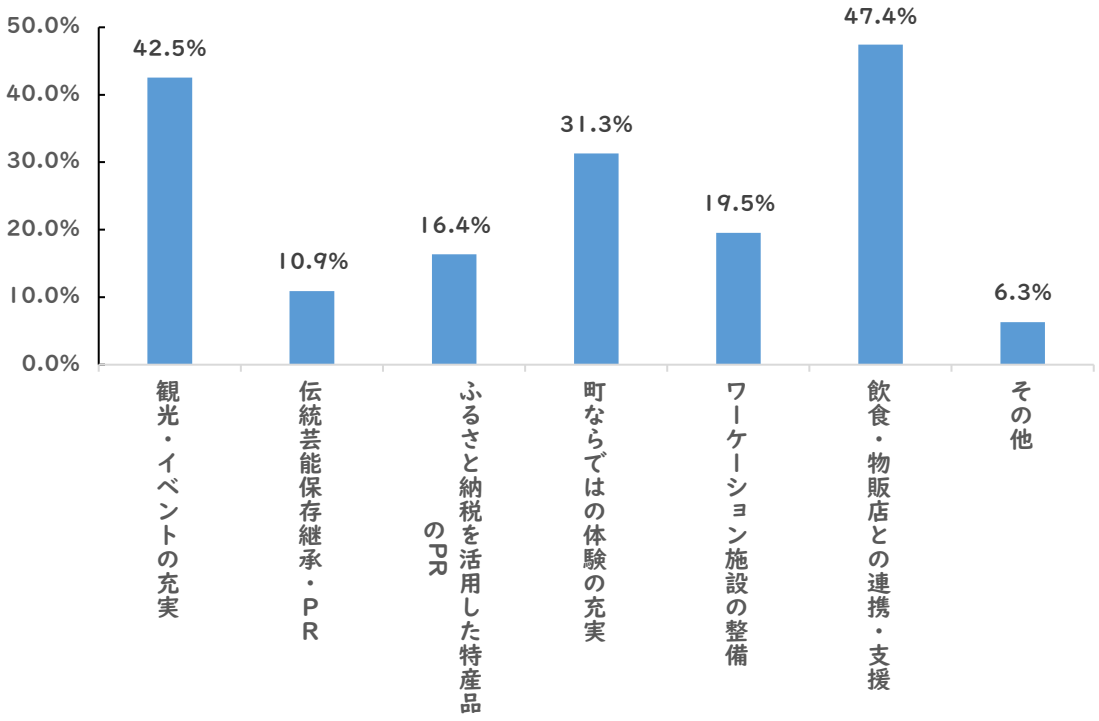
移住・定住の促進について



問６　交流人口・関係人口の拡大について

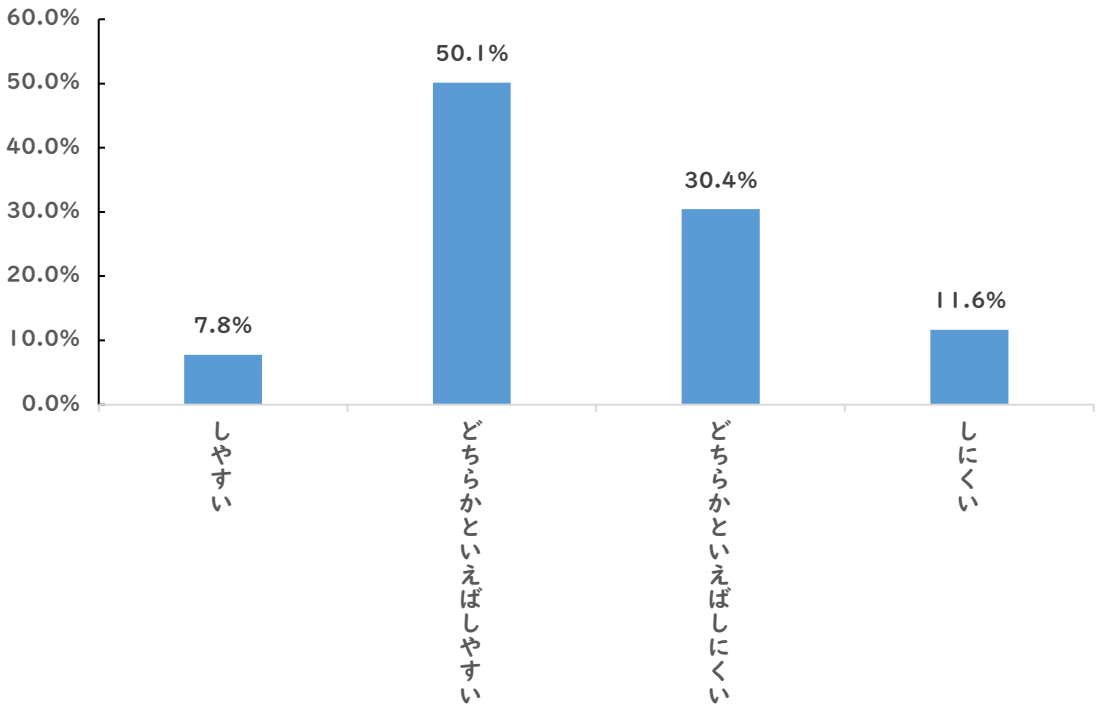
交流人口・関係人口の拡大について、行政に力を入れてほしい項目を見ると、町全体では、「飲食・物販店との連携・支援」（47.4%）が最も多く、次いで、「観光・イベントの充実」（42.5%）となっています。

交流人口・関係人口の拡大について



問７－１　子育てのしやすさについて

町全体では、「どちらかといえばしやすい」（50．1%）が最も多く、次いで、「どちらかといえばしにくい」（３０．４%）となっています。

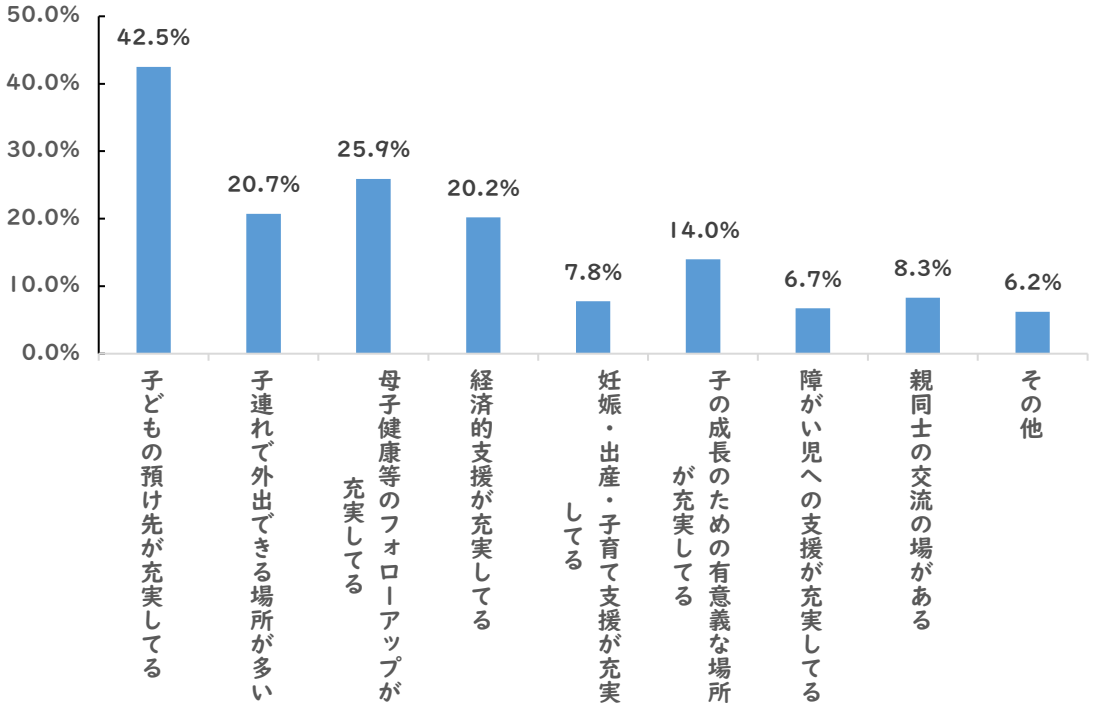


問７－２　子育てがしやすい理由

（問７－１で「子育てがしやすい」又は「どちらかといえば子育てがしやすい」と回答した方のみ回答）

町全体では、「子どもの預け先が充実している」（４２．５%）が最も多く、次いで、「母子健康等のフォローアップが充実している」（２５．９%）となっています。

子育てがしやすい理由

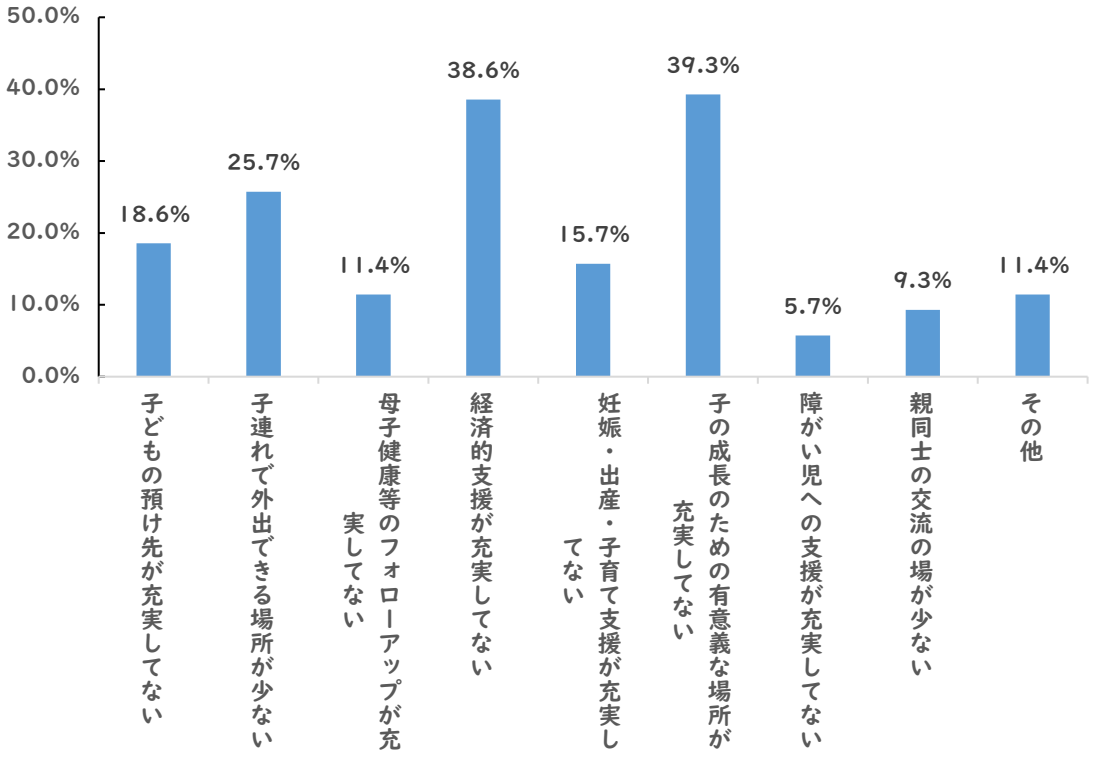


問７－３　子育てがしにくい理由

（問７－１で「どちらかといえば子育てがしにくい」又は「子育てがしにくい」と回答した方のみ回答）

町全体では、「子の成長のための有意義な場所が充実してない」（39．3%）が最も多く、次いで、「経済的支援が充実していない」（38．6%）となっています。

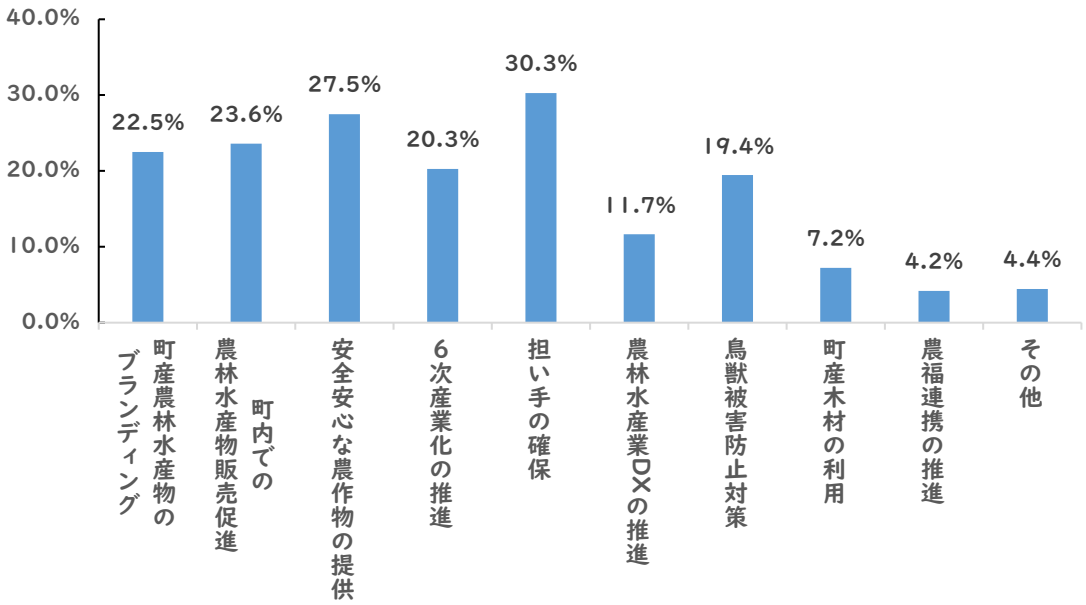
子育てがしにくい理由



問８　農林水産業について

農林水産業について、行政に力を入れてほしい項目を見ると、町全体では、「担い手の確保」（30．3%）が最も多く、次いで、「安全安心な農作物の提供」（27．5%）となっています。

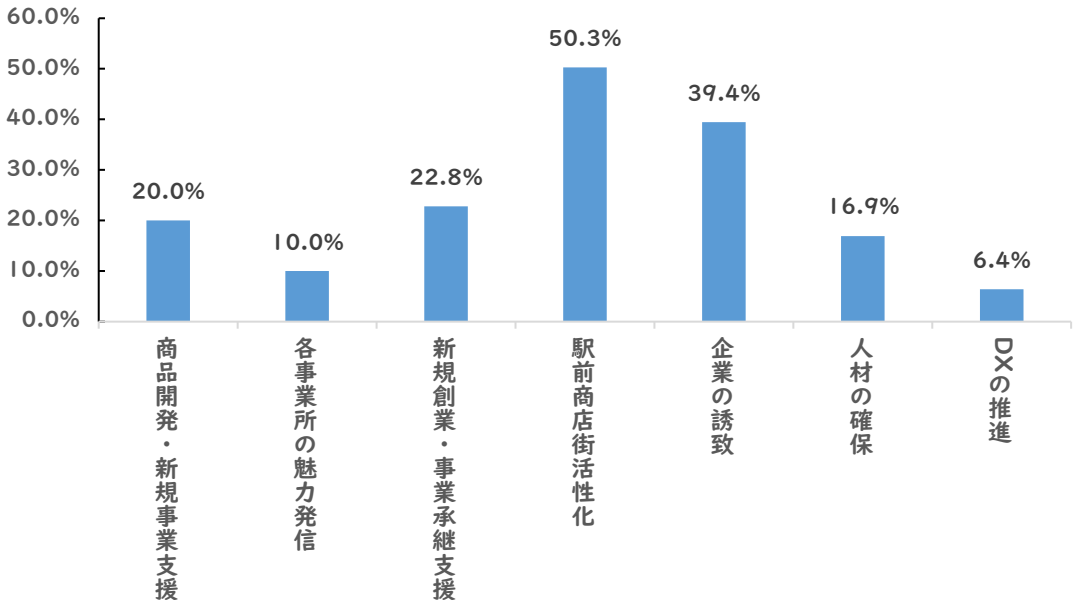
農林水産業について



問９　商工業について

商工業について、行政に力を入れてほしい項目を見ると、町全体では、「駅前商店街活性化」（50.3%）が最も多く、次いで、「企業の誘致」（39.4%）、となっています。

商工業について



問１０　築上町の好きなところについて

築上町に住んでいて「ここが好きだな」「この取り組みはいいな」「このお店が好き」「他の人に勧めたい」「この団体の活動が素晴らしい」といったこととして、以下のような回答がありました。

自然・景観
メタセコイア並木: 四季折々の変化が美しく、特に紅葉や雪景色が人気です。メタセの杜周辺の自然環境も高く評価されています。
浜ノ宮海岸: 海の美しさはもちろん、朝日や夕日、海岸から見える風景も素晴らしいという声が多くありました。また、ヤドカリ探しや散歩が楽しめる場所として親しまれています。
桜並木: 城井川沿いの桜並木や、浜ノ宮に続く桜並木は、町の財産として大切にされており、ライトアップされた夜の散歩も人気です。
その他: 緑豊かな道での散歩やジョギング、ホタルが見られる自然、田園風景、空が良く見えることなど、自然環境の豊かさが築上町の大きな魅力として挙げられました。

歴史・文化
綱敷天満宮: 歴史と神秘的な雰囲気が人気で、梅まつりの時期は特に多くの人が訪れます。
蔵内邸: 立派な建物や展示品が評価されており、PR の強化や食事提供を希望する声がありました。
伝統文化: お祭りや神楽を大切にしている点、地域で協力して行われる行事も評価されています。
地域連携: 地域住民が協力して行う草刈りや清掃活動、マコモ畑の取り組みなど、地域コミュニティの温かさが魅力として挙げられました。

暮らし
住みやすさ: 海と山が近い、静かな環境、人が温かい、子育て環境が良い、医療費助成、給食費無料などの点が評価されています。
利便性: ルミエールなどのスーパー、図書館、コマーレ、高速インター、駅、空港が近く、生活に便利です。
食: 新鮮な野菜が安く手に入る、米や水がおいしい、スイートコーンが特産品として人気です。地元産の食材を使った給食も評価されています。
コミュニティ: 近所付き合いが良好で、子育てを支え合うような温かい繋がりがある点が評価されています。

イベント・施設
イベント: ちくじょう祭り、航空祭、梅まつり、アグリパークの祭りなど、様々なイベントが楽しまれています。
施設: メタセの杜、アグリパーク、図書館、児童館、牧の原キャンプ場など、多くの施設が利用されています。
その他: ボランティアによる読み聞かせ会、有名人の講演会、自衛隊の祭り、地域でのマルシェなども評価されています。

店舗・団体
パン屋: 松屋、ワークランドコスモス、結いの石窯のパンが美味しいと評判です。
飲食店: 蔓松亭、満腹ラーメン、春の勝、からあげ太公などが人気です。
その他: 安部鮮魚店、ゆうこペットクリニック、シータ、進生花店、マルシェモンステラなど、個性的な店舗や人柄の良いお店も評価されています。
団体: しいだコミュニティ倶楽部、京築フィルムコミッション、地域の祭りやイベントを運営する団体などの活動も評価されています。

その他
築上町への愛着: 生まれ育った場所への愛着や、自然の中でゆったりと過ごせる環境を評価する声が多くありました。
今後の期待: 若者が起業しやすい環境づくり、地域資源の活用、観光施設の整備、地域ブランドの育成など、今後の発展に期待する声が多くありました。
意見: 町長への期待、若い世代の意見を取り入れるべきという意見や、情報発信の改善を求める声もありました。